



地域貢献度ランキング全国女子大学 No.1!
「組織・制度分野」でも上位にランキング!

※1雑誌「日経グローバル」の調査「大学の地域貢献度ランキング」にて、本学は2011～2021年度(2016年度より隔年調査)の間、8期連続で全国女子大学のうち第1位を獲得しています。
※2「大学の地域貢献度ランキング」のうち、地域貢献の推進に向けた組織・制度面の取り組みを調査する項目です。

学生のキャリア形成を支援する教育プログラム 「Sagamiチャレンジプログラム」 による学修成果を紹介します。

Sagamiチャレンジプログラムとは

本学では、学園スローガン「見つめる人になる。見つける人になる。」のもと、「しなやかな発想力と豊かな包容力を身につけながら、未来を、社会を見つめ、道を、答えを見つける人になる。」

そのような人材を育成することを教育目標に掲げています。
「Sagamiチャレンジプログラム」は、上記の教育目標に則り、「キャリア形成支援ポリシー」のもと、**授業以外で学生が主体的に取り組む正課外活動プログラム**です。

この冊子では、「Sagamiチャレンジプログラム」のうち、同じ想いや目標を持つ学生による「プロジェクト団体」が地域や企業等と協働しながら、1年間にわたって活動した結果、どのような力を身につけたか、学生目線で紹介しています。



「群馬県富岡市での地域貢献活動で「親和力」と「協働力」を身につけました」
栄養科学部 管理栄養学科 3年(撮影当時)品川 悠さん



夢をかなえるセンター

相模女子大学・相模女子大学短期大学部
相模女子大学大学院ホームページ

大学の公式ホームページです。夢をかなえるセンターの取り組みに加え、各学部学科での取り組みや受験生のみなさんへ向けた最新のイベント情報、入試情報等を掲載しています。



<https://www.sagami-wu.ac.jp/>

夢をかなえるセンター特設サイト

学生による学生のための情報発信サイトです。夢をかなえるセンターで行う社会貢献活動や国際教育について、実際に活動に参加している学生から情報を発信しています。



<https://ymkn.sagami-wu.jp/>



125th Anniversary
since 1900
2025年、相模女子大学は創立125周年を迎えます。



相模女子大学・相模女子大学短期大学部

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL 042-742-1411 (代表) / 小田急線相模大野駅下車徒歩10分

〈大学院〉栄養科学研究科 栄養科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)・社会起業研究科 社会起業専攻(専門職学位課程) 〈大学〉[学芸学部]日本語日本文学・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科 [人間社会学部]社会マネジメント学科・人間心理学科 [栄養科学部]健康栄養学科・管理栄養学科 〈短期大学部〉食物栄養学科

<https://www.sagami-wu.ac.jp/>

問合せ先

夢をかなえるセンター 連携教育推進課 社会連携推進室
TEL 042-813-5038 FAX 042-747-9599 renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

2023年4月発行



相模女子大学・相模女子大学短期大学部
夢をかなえるセンター 連携教育推進課

「Sagamiチャレンジプログラム」に参加した学生が身につけた力

CHALLENGE PROGRAM

キャリア形成支援ポリシー

相模女子大学・相模女子大学短期大学部は、「社会との関わりの中で積み重ねる全ての経験を通して、社会と自分自身をしっかりと見つめ、自らの進む道を見つけ出し、人生を前向きに生きてゆくこと」を「キャリア形成」と位置付け、学生が、以下の力を身につけ、主体的に「キャリア形成」をするための「学びの場」を提供し、そこでの活動を支援します。

社会人基礎力テスト「PROG」で測定可能な9つの力

対課題基礎力▶①課題発見力②計画立案力③実践力
 対人基礎力▶④親和力⑤協働力⑥統率力
 対自己基礎力▶⑦感情制御力⑧自信創出力⑨行動持続力
 ※PROGについて：(株)リアセックが提供する「学生に社会が求めるジェネリックスキル(社会人基礎力)」を測定

キャリア形成支援ポリシーにより学生が身につける力。

興味・関心を幅広く持ち、物事の本質を見つめ、筋道を立てて問題を解決する力。

課題発見力 計画立案力 実践力

社会との関わりにおける自分のありかたを考え、他者と柔軟なコミュニケーションをとり、協働できる力。

親和力 協働力 統率力

「働くこと」の意義を理解し、自分らしい生き方を見つけ出し、プランニングできる力。

感情制御力 自信創出力 行動持続力

case 2

親和力・協働力が伸びました！

親和力 多様な考えを受け入れ、相手の立場に立って考えることで信頼を引き出し人間関係を構築していく、また自分から多くの人と積極的に人間関係を築いていくチカラ
協働力 周囲と情報を共有し、周りの「やる気」を引き出して協力して課題に取り組み、またリーダー的立場からメンバーを指導し、チームや後輩の意欲を高めていくチカラ



Student's Voice



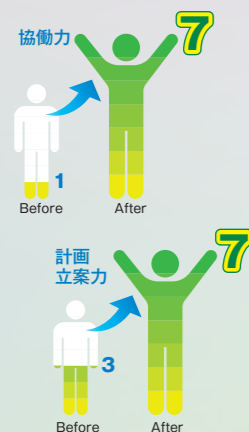
品川 悠さん
 栄養科学部 管理栄養学科
 3年(撮影当時)
 所属プロジェクト団体：
 おつきりんピック宣伝部

私がこれまでのSagamiチャレンジプログラムに参加をして、特に成長を感じた部分は、「親和力」と「協働力」の2つです。プロジェクトのリーダー・副リーダーを経験することで、身に付けることができた力です。
 コロナによる活動制限が徐々に緩和されてきた2022年の春、私はおつきりんピック宣伝部のリーダーとなりました。活動目標は「学生に何が求められているかを常に意識すること」。群馬県富岡市のNPO法人ふれあいパーク岡成の皆様と対話を重ねながら、活動内容を決めることにしました。
 岡成の皆様は若者の発想力に大きな期待を寄せてくださっているようでした。さっそくメンバー内でアイデアを出し合っていくつか提案したところ、どれもご快諾いただきありがたかったです。結果としては初の試みばかりになってしまい運営に苦労しましたが、コロナ禍を乗り切った宣伝部の結束力は強く、最後までやり抜くことができました。

case 1

協働力・計画立案力が伸びました！

協働力 周囲と情報を共有し、周りの「やる気」を引き出して協力して課題に取り組み、またリーダー的立場からメンバーを指導し、チームや後輩の意欲を高めていくチカラ
計画立案力 課題解決に向けた目標設定と、解決までのプロセスで想定されるリスクや対処方法にまで考えをめぐらせ、効果的な計画を立てるチカラ



Student's Voice



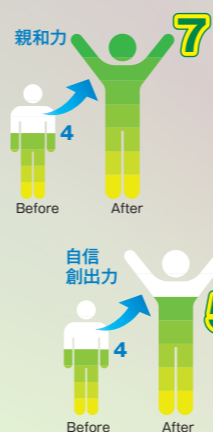
鎌田 朝子さん
 栄養科学部 健康栄養学科
 4年(撮影当時)
 所属プロジェクト団体：
 サガジョ盛り上げ隊プロジェクト

私がこれまでのSagamiチャレンジプログラムに参加をして、特に成長を感じた部分は、「協働力」と「計画立案力」の2つです。成長した過程として、約3年間、サガジョ盛り上げ隊プロジェクトのリーダーを務めていたことが大きく関わっています。
 1つ目の協働力では、活動しやすいようにする、居心地が良い環境づくりのための働きかけができるようになったことが成長を感じたところでした。人に何か頼むときは理解しやすいように整理して丁寧をお願いする、メンバーが何かアクションしてくれる度に「ありがとう」を伝える、などをしました。
 2つ目の計画立案力では、1つの課題を達成するために、ゴールを設定し、内容を整理し、メンバーごとの役割分担をできるようになったことが成長を感じたところでした。また、それぞれ役割を持った後も、常に全体を気にかけて、すぐにフォローできる状態にし、プロジェクトが円滑に進むよう働きかけられるようになったことも成長を感じました。

case 3

親和力・自信創出力が伸びました！

親和力 多様な考えを受け入れ、相手の立場に立って考えることで信頼を引き出し人間関係を構築していく、また自分から多くの人と積極的に人間関係を築いていくチカラ
自信創出力 自分の強みや弱みといった自身の特徴を理解し、自分に自信をもっていると同時に、機会を捉えて自分を向上させようとするチカラ



Student's Voice



永村 優羽さん
 人間社会学部 人間心理学科
 3年(撮影当時)
 所属プロジェクト団体：
 おつきりんピック宣伝部

私がこれまでのSagamiチャレンジプログラムに参加をして、特に成長を感じた部分は、「親和力」と「自信創出力」の2つです。おつきりんピック宣伝部では副リーダーを務めています。
 発表原稿の文章を具体的にどのような言い回しにするかと考えている際に、私が発した言葉を採用してもらえることが多く、伝わりやすい言い方や言葉を選ぶ力がついてきていると自信を持つきっかけになりました。このような体験から、副リーダーという役職の名に恥じぬよう、議事録や資料作成なども積極的に受けられるようになりました。自分の苦手とすることや悩みを会議の場で意見交換をすることで、各々の苦手を補い合う活動ができたと思います。特に、初の動画作成の際に、効果音やBGM、カット編集などについて会議でメンバーから様々なアイデアをもらうことで、自分には無い発想を得ることかでき、より良いものを作れました。これらの体験が、親和力や自信創出力の成長に繋がったと思います。